



★ 羅針盤 No.29

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

8月 今年もまた猛暑です。天気予報図を見ると、国内観測地点の80%以上が30℃以上の真夏日になっている日が続いており、猛暑日(35℃以上)を競う都市も出ています。暑さの中、熱中症で救急搬送される人の数も今までに無い多さで、10年前には考えられない現象です。就寝時にも水分補給を忘れないようにしましょう。

サマータイムで時差8時間のロンドン五輪をTVのLIVEで応援していると、体内時計がずれてきているようで、日中に眠くなりがちです。メダルの数は北京五輪の時より多くなっており、五輪終了時にはもっと増えるでしょう。金メダルが期待より少ないようですが、銀、銅の数は毎日更新されています。今回はチームプレイの種目に獲得数が多いようで、一致協力して目標に向かっていく姿は政界にも見習ってほしいものです。

五輪メダルの金・銀・銅などの素材は貴重な資源です。次世代のためにも資源を大切に使うてゆかなければなりません。

東港金属は廃棄物資源を有効利用するため、毎年僅かでもリサイクル率を上げる工夫努力を続けています。非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物等、身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



★ 羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの8月予測

営業部 Y の考察



鉄スクラップ → 考察) 指標になる東京製鉄宇都宮工場の特級価格がまったく変動なしで26,500円/トンのまま。8月に関しては、下げ止まりとの声がありますが、上がる要素も見えないので横ばいと思われます。



銅 → 考察) LME7,600ドル/トン、銅建値630,000円/トンでスタートし、2日には、銅建値が30,000円/トン上がり好調な滑り出しと思われましたが、中盤から下げに転じ、最終的には、630,000円/トンに戻りました。8月見通しは、円高、欧州中央銀行、ユーロ安も相まって、下がると思われます。

アルミ → 考察) LME1,895ドル/トンでスタートし、最終的には1,895ドル/トンとほぼ横ばいでした。8月も動きがないと思われます。

プラスチック → 考察) 原油安、円高が続いていますが、特に価格に変動なし。ペットボトルは、相変わらず国内・中国とも厳しい状態が続いています。8月に関しては、変化は見られないでしょう。



7月予測の自己評価

鉄スクラップ ×	アルミ ×
銅 ○	プラスチック ×

★ 羅針盤

中国における自動車リサイクル政策の矛盾・議論

車佳 (CHE, JIA) Ph.D.

日本学術振興会JSPS 外国人特別研究員
東北大学大学院 国際文化研究科

➤ 指定5大品目の回収・破砕(既存の制度)

2011年に中国の年間自動車販売数は1,850万台であり、世界一となっただけでなく、世界での最高記録も更新した。しかし、現時点で中国国内において、使用済み自動車の解体・リサイクル制度などに関しては、相変わらず2001年「廃車回収管理方法(307号令)」に基づき、指定5大品目を厳しく管理している。つまり、解体する際に指定された5大品目(エンジン、ステアリング装置、トランスミッション、ブレーム、車軸)を回収し、それらを破砕しなければならないという現状であった。

➤ 既存制度と資源循環の相互矛盾

2006年3月の全国人民代表大会において、温家宝首相は、税制上の優遇措置などにより、廃棄物資源総合利用と再生資源回収・リサイクルの推進を主軸とする循環型経済社会の構築を発言した。それを契機として、国内の解体業者が早急に現行の政策を見直す必要があるという批判の声はますます多くなると考えられる。この理由としては、指定された5大品目を破砕することは資源有効利用にならず、中央政府から提唱された「資源回収総合利用・循環経済社会の構築」というスローガンとも矛盾している。特に、国内の解体・リサイクル業者が指定された5品目から利益を得られないという重要な原因とされている。

➤ 再製造重点化、解体方式は機械化?

最近の動きとしては、中国物質再生協会、商務部の立案関係者が2年近くの国内現地訪問調査、意見交換を通じて、「廃車回収管理方法(307号令)」の修正作業をすでに終え、国務院に原案を提出・申告済の状況である。改正後の307号令は、国務院の指令により今年年度末に実施される予定である。改正案の中で最も大きな修正点は、指定5大品目が再販できる可能性である。さらに、今後、手作業による精緻な解体だけでなく、使用済み自動車解体用重機、切断機、破砕機などの機械を導入しようとする動きが出てきている。2012年5月22日の中国物質再生協会の新聞記事によれば、山東省華嘉資源総合利用有限公司(済南市)は日本コベルコ建機株式会社の解体用重機2台をすでに導入し、解体処理能力は年間5万台を目指すという動きがあった。中国では、廃車は有価物として流通し、解体・リサイクル業者はどうやって継続的に大量な廃車を集めるか、現地労働雇用を減らして全て機械化一貫体系とする妥当性について議論すべきである。(了)

京浜島日記

(第14回)



8月7日に立秋を迎えましたが、東京でも非常に暑い日が続いております。私個人的には暑さには強いので、さほど苦でもなく、世の中がスパークールビズという事で軽装が完全に許容される状況になるので、実に有り難く業務における軽装を楽しんでおります。

さて当社は、先月の7月20日に創業110周年を迎えることが出来ました。これもひとえにお客様をはじめ、関係会社の皆様、当社OBの皆様、従業員達の奮闘努力の賜物とこの場をお借りして御礼申し上げます。

110周年といっても、内輪(OBの方々、顧問、社員)のみで祝宴をあげさせていただきました。

いろいろと歴史を振り返ってみて先輩方の足跡を見れば感謝の念はもとより、こんなことをしていたのだなあと感心することも多いのです。

たとえば、今年から当社のスクラップヤードでは「手カギ」という道具を使っています。(市場でマグロを引っ掛けて動かしている道具です。)以前は利用していたのですが、機械化が進むにつれてなくなってしまいました。しかし、梃子の原理も動きとても力が出るので、また利用を始めました。重たいものの取り扱いには便利ですし、腰痛防止にもなります。ご興味の方がおられればお問い合わせください。

温故知新といいますが、古いものの中にも新しいものがありますし、一方で古いものだけに拘泥しすぎると良い方向に進みません。このバランスのとり具合を大切にしたいと思っています。

(代表取締役 福田 隆)

明治35年7月20日
開業時の許可証

当時の福田商店



未だ自転車が多かった時代で、輸送には馬車や大八車が使用され、少量の物は風呂敷に包み背負って配達したと記録にあります